

— 記者発表資料 —



国道23号 蒲郡バイパス

令和6年度 開通予定

～名豊道路(延長72.7 km)が全線開通～

<概要>

国道23号蒲郡バイパスは名豊道路の一部として計画し、東は豊橋バイパス、西は岡崎バイパスと接続する延長15 kmのバイパスです。

これまでに、蒲郡ICから幸田芦谷ICまでの5.9 kmが平成26年3月23日に暫定2車線で開通しているところです。

今般、防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム※において、豊川為当IC～蒲郡IC区間(9.1 km)では、新たに開通見通しを公表しましたので、お知らせします。

本開通により、名豊道路は全線開通となります。

一日も早い開通に向け、引き続き安全に配慮しながら事業を進めて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月11日閣議決定)に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、5か年の具体的な事業進捗見通し等を示し、計画的な事業執行に取り組むとともに、周辺の開発事業等との連携を図りながら、対策の効果をより一層高めることを目的に策定したものと

【開通見通しお知らせ箇所】

○開通時期：令和6年度開通予定※ ※大規模切土工事が順調に進んだ場合

○開通箇所：国道23号 蒲郡バイパス
豊川為当IC～蒲郡IC間(延長9.1 km)

<資料> 概要、工事進捗状況、開通により期待される効果・・・別紙1～別紙5

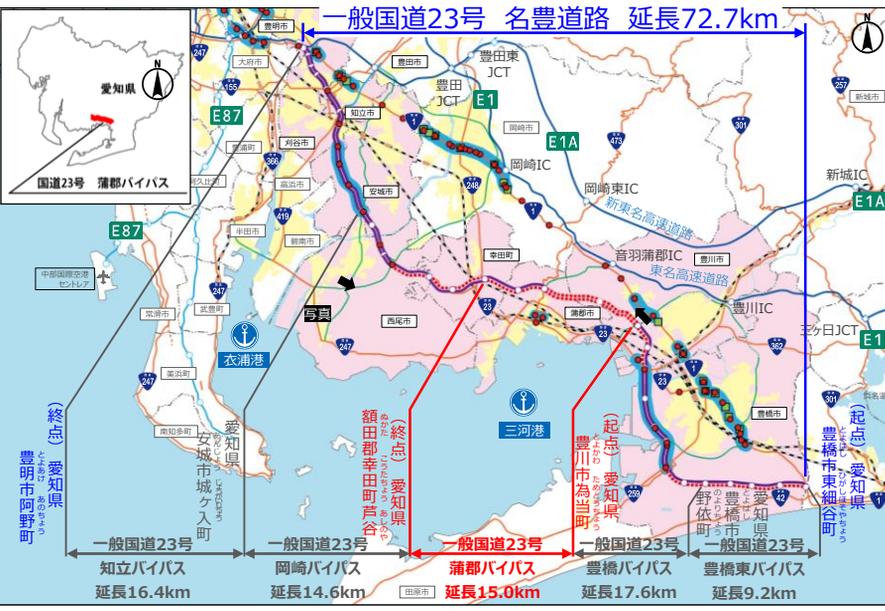
記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、蒲郡市政記者クラブ、豊川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 TEL：052-823-7911(代表)
副所長 飯田 明弘 計画課長 福岡 英治

<位置図>



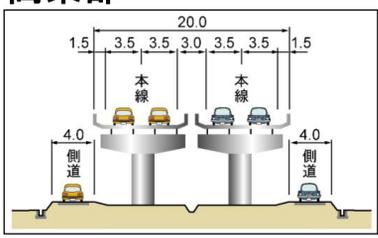
<概要>

路線名	一般国道23号 蒲郡バイパス
区間	起)豊川市為当町 終)額田郡幸田町芦谷
延長 (供用済延長)	15.0km (5.9km 暫定2車線開通)
幅員	【橋梁部】 20.0m(4車線)今回暫定2車線 【盛土部】 20.5m(4車線)今回暫定2車線 【トンネル部】 20.5m(4車線)今回暫定2車線
規格	豊川為当IC~幸田芦屋IC 第1種第3級 80km/h

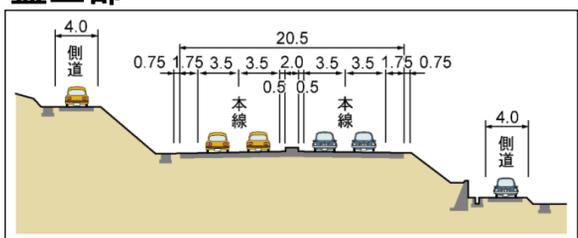
<標準断面図>

単位:m

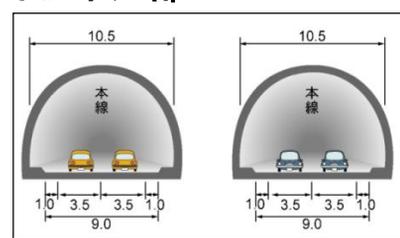
高架部



盛土部



トンネル部



<平面図>



<凡例>

完成4車線開通済	暫定2車線開通済	未開通	名豊道路	開通済	高速道路	開通済	一般国道	未開通	主要地方道及び県道
駅	JR線	主要渋滞箇所	主要渋滞区間	※ () IC名: 仮称					

開通により期待される効果(渋滞緩和)

■ 蒲郡バイパスの既開通区間（蒲郡IC～幸田芦谷IC）に並行する国道23号（府相交差点）は、バイパス開通後、慢性的な渋滞が解消しました。

■ 一方で、未開通区間（豊川為当IC～蒲郡IC）に並行する主要交差点では、依然として著しい渋滞が発生しており、蒲郡バイパスの全線整備により、大型車などの通過交通が転換し、蒲郡市街地や並行路線の渋滞緩和が期待されます。

○蒲郡バイパスの開通による渋滞緩和効果



○①府相交差点の渋滞状況



○②三谷町伊与戸交差点の渋滞状況



R1.11.12 (火) 7時台

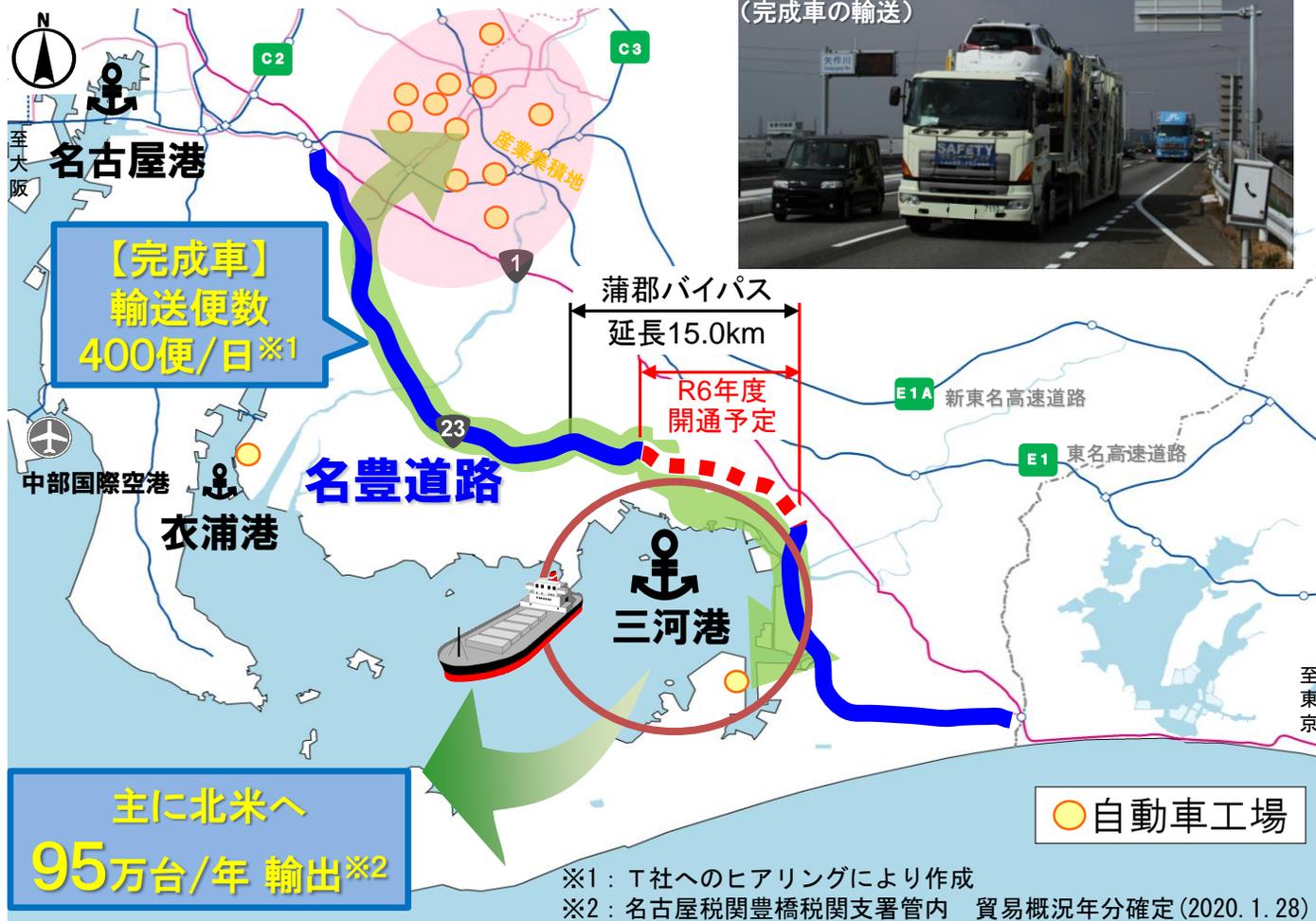
○③前芝宇塚交差点の渋滞状況



R1.10.30 (水) 7時台

- 自動車生産拠点等の産業集積地と三河港を連絡する名豊道路は、企業活動をはじめとする多くの物流交通を担っています。
- 名豊道路の唯一の未開通区間である蒲郡バイパスが開通することで、名豊道路全線が繋がり、産業集積地から三河港への輸送時間が短縮し、完成車両の輸送回数が2往復から3往復に増加するなど、物流交通の効率化を支援します。

○三河港からの完成車両の輸出

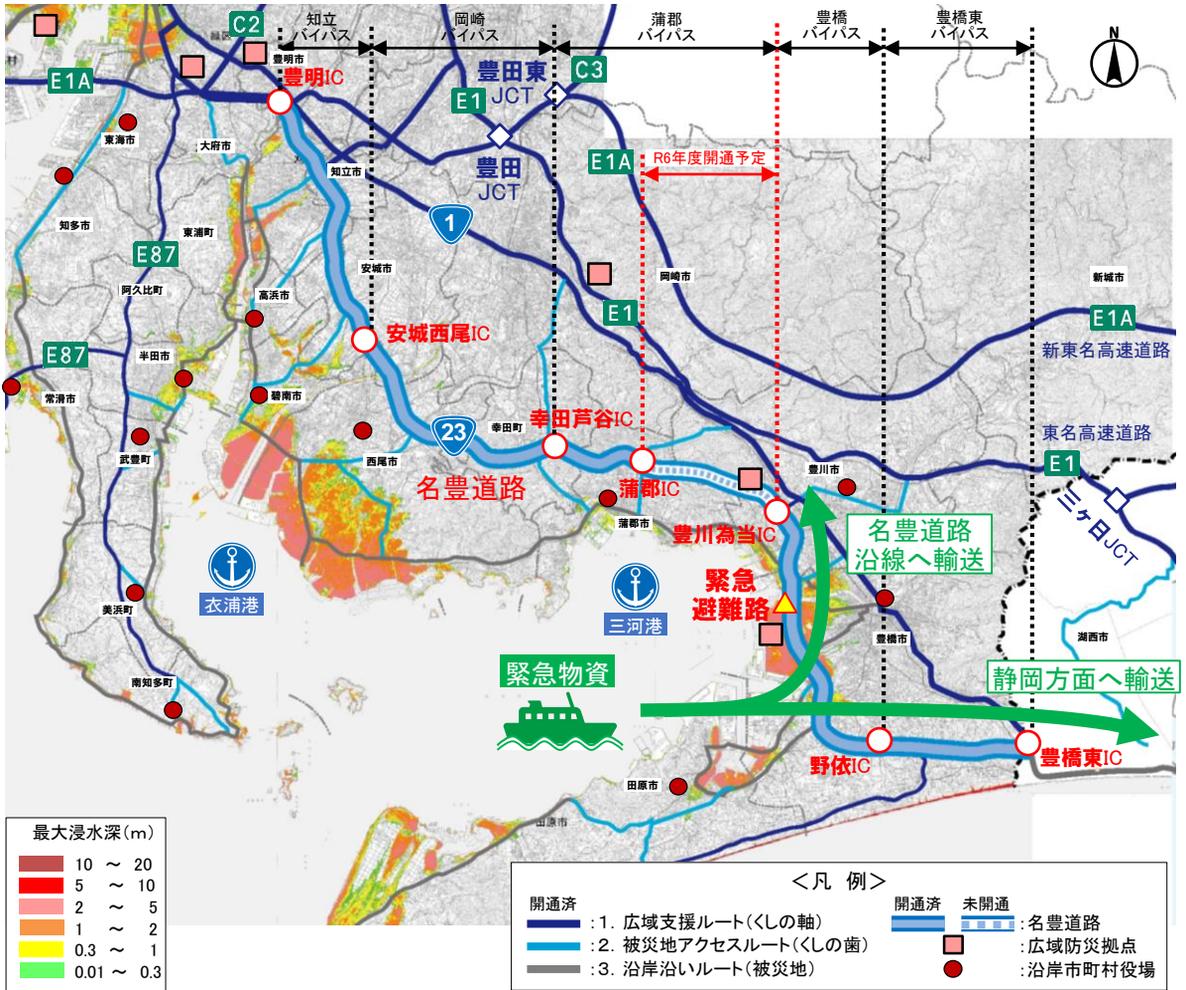


豊田市自動車工場⇔三河港
 現在2往復→全線開通後3往復
 輸送回数の増加が可能

輸送コストが約1割削減

- 三河地域の太平洋沿岸部は、東海・南海・東南海の3連動地震発生時には津波浸水被害が懸念される地域です。
- 浸水区域内では、津波被害を受けにくい高架構造で整備されており、被災時には三河地域沿岸部への救援・救助活動、人員・物資輸送を担う道路として、災害時の迅速な活動を支援します。

○大規模災害時における蒲郡バイパスの役割と早期復旧ルート確保手順



○津波による被害を回避



○緊急避難路の整備(豊橋市富久縞町)



津波避難訓練の状況(H29.8.27)